

# 全日本トラック協会における 車輪脱落事故防止に係る取り組みについて

令和7年9月24日

公益社団法人全日本トラック協会

## (1) 大型車用トルク・レンチの導入助成事業の実施

- ・車輪脱落事故の防止を図るため、大型車用トルク・レンチの購入に対し、安全装置等導入促進助成事業の対象として助成
- ・助成対象装置(トルク・レンチ)
  - ①「600N・m」以上の締め付け能力を有する大型車用トルク・レンチ(自立型トルク・レンチ、トルクセッター型インパクトレンチを含む。)
  - ②車両総重量8トン以上の事業用トラックを管理する事業所を対象



画像の出典:株式会社東日製作所ホームページ

## (2) 都道府県トラック協会における車輪脱落事故防止の取り組み事例の共有

- ・都道府県トラック協会において令和7年度に実施する車輪脱落事故防止に係る取り組みを一覧にまとめ、都道府県トラック協会間にて情報共有
- ・実施予定時期
  - ①～令和8年2月
- ・取り組み例
  - ①ホイールナットマーカの配布
  - ②車輪脱落事故防止セミナーの開催

タイヤメーカーやタイヤ販売店の協力のもと、座学や実習を実施



### (3) 大型トラックのタイヤ交換作業手順 動画及びリーフレットの作成・配布

- ・車輪脱落を防ぐための具体的なタイヤ交換作業の手順と方法を周知するリーフレット「ストップ 車輪脱落事故～正しい交換作業手順を再チェック！」を作成
- ・車輪脱落事故防止専用サイトを立ち上げHPで公開し、正しい脱着作業を啓発

**ホイール・ナットの締めを見る化へ**

- 規定トルクで締め付けたホイールナットに「マークンギ」して、走行時にホイールナットが緩んだ状態を可視化できます。
- 規定トルク後の実際の締め具合を内視鏡で再確認しましょう。



**50km～100km走ったら 必ずトルクレンチで増し締めを!**

規定トルクで締め付けた後であっても、走行すると必ず緩みが発生します。タイヤを交換してから50kmから100km走行後、トルクレンチを使って、規定トルクでの増し締めを必ず実施してください。(トルクレンチを有していない場合には、車寄りの整備工場など、トルクレンチが備わっているところを実施しましょう。)

※車輪の異常な挙動は、直ちに走行の危険な状態です。直ちに走行の危険な状態です。直ちに走行の危険な状態です。

**トルクレンチ購入助成 実施中!**

車輪の異常な挙動は直ちに走行の危険な状態です。直ちに走行の危険な状態です。直ちに走行の危険な状態です。

**ただしい交換作業手順を再チェック!**

**ストップ 車輪脱落事故**

依然 減らない 重大事故

大型トラックの車輪脱落は死亡事故や重大事故につながります!!

全国でみると発生件数は増加傾向



近年の人身事故の状況

2023年	死亡事故 1件	重傷事故 4件
2022年	死亡事故 1件	重傷事故 4件
2021年	死亡事故 1件	重傷事故 4件

車輪脱落による社会的影響



JTA 全国自動車工業会 全日本トラック協会

**車輪脱落事故を起こすと行政処分等により「車両の使用停止」**

行政処分等の基準

ホイールボルトの折損、ホイールナットの脱落	初違反	20日車
またはそれらに類する事象に起因する車輪脱落事故が発生した事	再違反	40日車

※3年以内に再発すると「整備管理者は解任」されます

適正なタイヤ交換作業の手順などの情報はこちらからご覧ください

タイヤ交換作業の手順と方法(動画) <https://www.jta.or.jp/government/tyrechange/>

1. 日本自動車工業会(国土交通省)「車輪脱落事故防止リーフレット(動画)」 [https://www.jta.or.jp/government/tyrechange\\_video/](https://www.jta.or.jp/government/tyrechange_video/)

車輪脱落事故の防止 [https://www.jta.or.jp/government/tyrechange\\_video/](https://www.jta.or.jp/government/tyrechange_video/)

車輪の点検に当たって! 大型車の車輪脱落事故(動画) [https://www.jta.or.jp/government/tyrechange\\_video/](https://www.jta.or.jp/government/tyrechange_video/)

### (4) 大型車の車輪脱落事故防止に係る 令和7年度緊急対策の周知徹底

- ・国土交通省、自工会作成ポスター「ホイールボルト、ナットやディスクホイール、ハブの錆に注意」チラシを配布
- ・配布方法  
全ト協機関紙「広報とらつく(令和7年9月25日号)」に刷り込み印刷
- ・会員事業者への配布数  
約55,000者

(大型トラック・バス) **ホイールボルト、ナットやディスクホイール、ハブの錆に注意!**

ホイールボルト、ナットやディスクホイール、ハブの経年使用に伴う錆によるゆるみと思われる「車輪脱落事故」が発生しています。錆しにくい部品はありますが、錆に注意してください。

**ホイールボルト、ナットの錆**

ホイールボルト、ナットの錆が原因でゆるみが生じると、規定の締め付けトルクで締め付けても、十分な締め付け力が得られなくなります。

【ホイールボルト、ナットの点検要領】

- 錆びの発生がない点検します。
- 錆びが発生している点検します。
- ボルトが腐り切っていない点検します。

【ディスクホイール、ハブの錆】

ディスクホイールやハブの経年使用やこれまでの清掃不足により、錆が原因でゆるみが生じることがあります。

【ハブの点検要領】

- ホイールボルトに錆びが生じていない点検します。
- ホイールボルトの錆びが、ホイールボルトの締め付けトルクに影響を与えていない点検します。

【ディスクホイールの点検要領】

- ホイールボルト、ホイールボルトの錆び、ホイールナットに錆びが生じていない点検します。
- ホイールボルトの錆びが、ホイールボルトの締め付けトルクに影響を与えていない点検します。
- ホイールボルトの錆びが、ホイールボルトの締め付けトルクに影響を与えていない点検します。

国土交通省

解説編 **ホイールボルト、ナットやディスクホイール、ハブの錆の影響**

なぜ錆び落とし、給脂を実施するのか、実施しないとうなるのか

**ホイールボルト、ナットの清掃・給脂**

ホイールボルト、ナットのねじ部や、ナットと座金(ワッシャー)の摺動面にごみや泥、錆があったり、給脂をしないと、ナットが円滑に回らなくなり、規定の締め付けトルクで締め付けても、ナットが本来あるべき位置まで締まらず、十分な締め付け力が得られなくなります。

不適切な状態で締め付けたナット回転角度

正しく締め付けたナット回転角度

**ディスクホイール、ハブの清掃・錆落とし**

ディスクホイールとハブ接合面にごみや泥、錆があると、これらが濡れたり、割れることで、締め付け力の低下(緩み)の原因となります。

ごみ、泥、錆



国土交通省



## (5) その他の取り組み(予定を含む)

## ① 令和7年春の全国交通安全運動

- ・運動期間: 令和7年4月6日(日)～15日(火)
- ・実施計画に「車両の日常点検及び定期点検の確実な実施に努めることにより、車輪脱落事故防止対策の徹底を図る。」ことを項目化

## ② 令和7年度「トラック運送業界における点検整備推進運動」

- ・令和7年9月1日(日)～9月30日(月)までを全国統一の「自動車点検整備推進運動強化月間」
  - ・上記に加え、地域事情に応じて各都道府県トラック協会が独自に設定する1ヶ月間を「地方独自強化月間」とする
  - ・運動強化月間及び地方独自強化月間中、法定点検時期の有無にかかわらず、一回以上、ホイール・ナットの緩みの重点点検を実施
- なお、重点点検期間中に冬用タイヤへの交換を予定している場合には、冬用タイヤ交換後に点検

## ③ 令和7年秋の全国交通安全運動

- ・運動期間: 令和7年9月21日(日)～30日(日)
- ・実施計画に「早めに冬用タイヤ交換を計画する他、適切なタイヤ脱着作業の実施により車輪脱落事故防止対策の徹底を図る。」ことを項目化

## ④ 大型車の車輪脱落事故防止に係る令和7年度緊急対策(予定)

- ・自工会作成車輪脱落事故防止ポスターの配布
- ・全ト協機関紙「広報とらっく(令和7年10月号)」に刷り込み印刷をして会員事業者に配布予定

## ⑤ 第64回「正しい運転・明るい輸送運動」(予定)

- ・運動期間: 令和7年11月16日(日)～令和8年1月10日(木)
- ・実施計画に「車両の日常点検及び定期点検の確実な実施に努めることと併せて、早めに冬用タイヤ交換を計画する他、適切なタイヤ交換作業の実施により車輪脱落事故防止対策の徹底を図る。」ことを項目化

